



発行：救いの光教団
編集：神成編集室
東京都世田谷区北沢
(☎155-0031) 2-22-10
電話 代表 03(3413)0123
http://sukui.jp
毎月1回1日発行
購読料 1部80円
(会員の購読料は会費を含む)

2025
No.636
8月号



祝 教団創立五十三周年 『救いの光教団創立の意義』

救いの光教団は、教祖明主様の救いの光、救いの力を普く世にひろげるため、誕生したことは疑う余地のないところである。御神意によることは、自から明らかである。これはいうまでもなく、現下のあらゆる面において、重大時期の切迫に応じた神様の大経綸に外ならないのである。

教団信徒はひたすらに素直に誠をもって信奉し、大光明世界建設の使徒としての誇りと自覚をもって、これが教祖明主様の御心に叶う唯一の道であることを胆に銘じ、神業宣布に邁進する決意を新たにすることが大切である。



御光筆
『光』(教団所蔵)
印首印 光明
落款、(チヨン)
落款印 東山莊主
昭和二十三年

◎教団方針

信徒よ速やかに目覚めよ、それは光を受け、邪を捨て、光を授け、正に生きる事である

神言靈

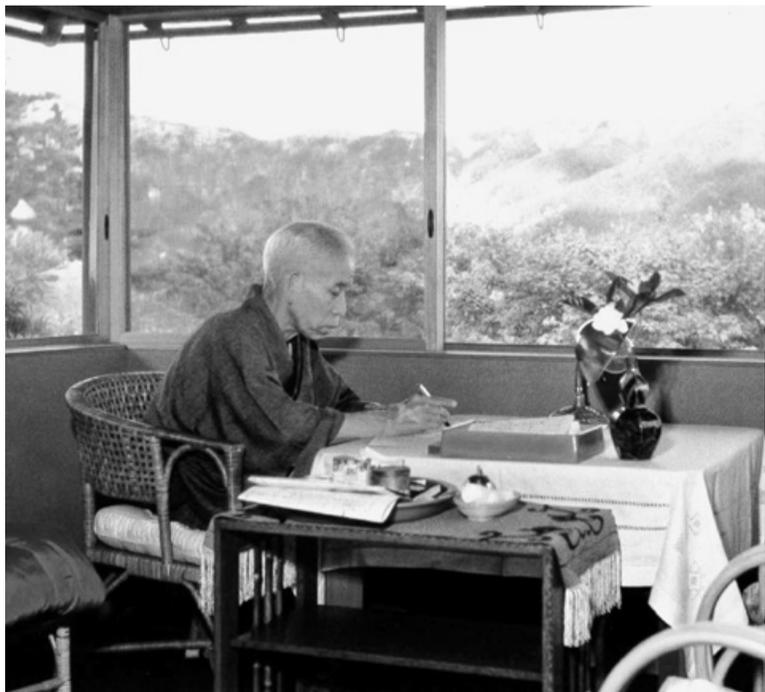
◎方針のみちしるべ

- (一) みつめなおそう明主様の心
- (二) つらぬきとおそう明主様の心
- (三) 教団綱領を尊び実践する
- (四) 信仰継承は家族と家庭円満から

三千世界の大清算(抜粋)

太陽の光は、白昼の明るさは、あらゆる汚濁を浄めずにはおかないのである。欺瞞は蔽隠す事が出来ない。秘密は忽ち暴露させる。罪悪は行い得ない。不正は影を潜め、闘争は打断られてしまう。そうして、あらゆる物の狂いは、是正され、社会の機構は合理的に動き、人は、公平なる時所位を得、善は栄え、万人生を樂しむ時代になるであろう。

唯然し、この光明世界を信じられない人は、この時代に適合しない為に、その時迄に、没落の運命を辿るより致し方ないであろう。近く斯様な時代が、信ずると信ぜざるに拘わらず、好むと好まざるに係らず、追って来るとすれば、それを信じ得ない人々の状態は、どうであろう。今迄隠し蔽せた罪悪が、秘密が、不正が、どしどし暴露して来る。又罪穢に充ちた身体は、崩壊するより致し方がない。細菌が、太陽の光に死滅する様である。斯様に、今迄の夜の世界とは、全然勝手が違う時代が来る事は、予期し得らるのである。国と国とは、闘争の結果、それが双方悪である場合、どちらも滅びるであろう。正なるもの神の意志に適合する者のみが残存し、そうして栄える事になるであろう。



観山亭サンルームで論文を推敲される明主様 (昭和28年夏)

う。今日の、国際間の関係をみれば、全世界は、一大争闘と、動乱の渦を起こさんとし、それに捲込まれない国は無いと、断言し得られない状況である。全く、夜の世界の崩壊の、前奏曲とし、観られない事はないと思う。

私は、夜から昼に移るといふ、世界的大清算が、もしあるとすれば、崩壊や滅亡などという、忌まわしい事の無い様に、平和に、より安穩に、光明世界の来らん事を、念願して熄まない者である。



明主様の教えを心に誓い 光をまくばり 救いの業を
普く世にひろめます (全五回)

教団綱領の学び

【第一回】明主様の教えを心に誓い

『私はつねに大光明世界建設を唱えているが、これは私が考え出したのではない。天の時にたつて、神が私をして実現すべき計画と様相を示すとともに、目的を遂行し得る、絶大なる力を与え給うたのである。その力のうち、物を識る力の発揮が私の解く説となったのである。』

一、『神言霊』の研鑽にあたって

『神言霊』をいかに実行し、御神業奉仕をさせて頂くというところでございまして、そういう意味で『神言霊』を研鑽すべきです。

二、御神意を正しく受け止める

三、『神言霊』は御神意そのままである

『私は、神人合一の立場にあり、神様の御心がそのまま私に映ってくるので、私の口から出ることは神様が仰ることを思ってもらえれば間違いないのである。』

『神言霊』はすべて真理でございまして、私たちは『神言霊』によって、大光明世界建設の理想と現実を知り、また、物事の真相を覚つて、立派な信仰者、明主様の使徒となることができるのです。その『神言霊』がどのようなものであるか、また、どのような姿勢で、どのような心で実践すれば良いかを真摯な態度で学習していきます。

明主様の御手足として、明主様の御経綸の要の大光明世界建設の御神業を担わせて頂く私たちにとりまして、『神言霊』を通して明主様の御心をもっともっと直接的にわからなくてはいけない。明主様との御神縁をもっともっと深く覚らなければいけないのです。

もう一度、教祖明主様に『神言霊』を求め、魂に力を頂き、浄化され、霊的向上を許され、霊層界を上げて頂くことを許され、実践に力を頂き、御守護を許され、教団方針を実行し、発展充実を許されていかねばならない時を迎えております。

『神言霊』の研鑽は、何が目的であるかと申しますと、

信仰向上の最も重要な決め手は『神言霊』 拝読の多い、少ないによつて左右されると言つても過言ではないと思ひます。『神言霊』は一日、二日、いな五年、十年で、私たちが理解させて頂けるはずはあります。一日ごとに、一年ごとに年月を重ね、自己の向上と相まつて拝読を続け、永遠に続く真理の道を生涯の道標として進んで行きたいものです。

『出来るだけ『神言霊』を読むことで、読めば読むほど信仰が深くなり、魂が磨けるのである。『神言霊』の拝読を疎かにするものは、力がだんだん減るものである。信仰が徹底すればする程、貪るように読みたくなくなるもので、繰り返し繰り返し返し返し返し返して読むのがよいのである。もちろん読めば読むほど御神意がハッキリ分かるものである。』

真剣味が足りないということとで、こういうことがありました。何かの御用で、ある教会長が明主様のところにあがらせて頂いた時、いろいろ『神言霊』を頂いた後で、明主様は『あなた『神言霊』を読んでいるか。』と仰つた。そこで「はい、読ませて頂いております」と申し上げました。

すると明主様は、『おかしいな、読んでないんだらう。』と仰るのです。一生懸命読ませて頂いておりますから、変だなどと思ひまして、「何回も読ませて頂いております」と

申し上げると、『どこで読んでいるか。』と仰いました。どこで読んでいるかとおたずねになつても、こちらは目で読んでいるわけですから、とつさのことで、ちよつと見当がつかせませんでした。仕方がないから、「目読させて頂いております」とお答えすると、『じゃ、これ(目)で読んでいるんだな。』さようでございまして

『そりやだめだ。あなたは読んでいる、読んでいるというけれど、本当に読んでいるところが形に出ていない。形に現れてなければ、読んでいないのと同じようなものだ。だから頭で読んじゃだめだよ。肚で食るように読め。』と仰いました。

『私の書いた文章を読むことによって、目から浄霊を受けられるのである。ではどういふわけかという、全ては文章を通じて書く人の想念がそのまま映るものであるから、この点十分知らねばならない

『私は、神人合一の立場にあり、神様の御心がそのまま私に映ってくるので、私の口から出ることは神様が仰ることを思ってもらえれば間違いないのである。』

『私が書いているのは、主神の経綸である。もちろんこれは、神定のプログラムであるから信ずるより外はない。』

『これは私が言うのではないので、神様がみんなを助けるために言うのです。私の口から出ることは、神様自身が言う。』

『私は、神人合一の立場にあり、神様の御心がそのまま私に映ってくるので、私の口から出ることは神様が仰ることを思ってもらえれば間違いないのである。』

『私は、神人合一の立場にあり、神様の御心がそのまま私に映ってくるので、私の口から出ることは神様が仰ることを思ってもらえれば間違いないのである。』

『私は、神人合一の立場にあり、神様の御心がそのまま私に映ってくるので、私の口から出ることは神様が仰ることを思ってもらえれば間違いないのである。』

『私は、神人合一の立場にあり、神様の御心がそのまま私に映ってくるので、私の口から出ることは神様が仰ることを思ってもらえれば間違いないのである。』

トピックス

光守様の最近のご様子を写真にてご紹介いたします。



リハビリ中の光守様 (2025年6月26日)



快気内祝いの封筒にはご自身でお名前をお書きになりました (2025年6月17日)



天啓祭は本部にてご参拝されました (2025年6月15日)



神成を拝読される光守様 (2025年3月26日)

五月いども祭の様子

今年の五月いども祭が各布教拠点にて祈願祭、もしくは感謝祭にあわせて御祈願の御参拝が行われ、幾つかの教会では祭典の後、種々のレクリエーションが行われた。

東京教会では、今年から始まった「こども食堂」の新作メニューの試食会も兼ねて大人とこどもが楽しめる食事が行われ、浜松教会では、ハンドタオルを組み合わせてカップケーキやロールケーキ状にする「タオルケーキ」作りが行われ、参加者は楽しみながら制作に取り組み個性溢れた世界に一つだけのタオルケーキが完成した。長野教会では子供たちがたこ焼きとお好み焼き作りを行い参拝者にも振る舞われた。塩竈教会では対象者の参拝はお許しは頂けなかったものの、皆



完成した作品とともに記念撮影 (浜松教会)

さんで庭園の手入れが行われ、埼玉教会では境内地の畑で毎年恒例のサツマイモ苗の植え付けが行われた。また、長岡教会では祭典日とは別に、六月にレクリエーションを行い、大人とこどもがお互いに楽しめるクレープ作り体験やミニゲーム大会が行われ、参加された皆が大いに楽しんだ。

こども、青年・学生の教会参拝が難しい状況ではある事は今年も変わらな



たこ焼きづくりに集中 (長野教会)



クレープ作りにチャレンジ (長岡教会)



みんなで楽しくゲームに挑戦 (長岡教会)

いが、教会へ参拝された方々が楽しいひと時を過ごすことができた事は何よりの御守護である。



教会庭園の整備を行いました (塩釜教会)

させる効果があり、最初の細く色味も薄い稲も、この作業を行う事により元気に大きくなるのである。作業は約十日の間隔を空けて二回行った。除草作業は何度も行わないと、しぶとい雑草は直ぐに生えてくるのである。二回の作業はともに天候に恵まれ、三枚の水田は無事に作業を終える事が出来た。ただ、六月初旬の初回はこの時期にしてはやけに冷たい気温で、温かくなるのか心配していた所、二回目は逆に真夏日となりこの時期にしては暑すぎる位となった。この異常な気候の中で稲がちやんと生長するの不安もあるが、神様の御守護と自然農法の稲の強い生命力を信じて今出来る作業を懸命にさせて頂くばかりである。最後に、この除草作業も伊那教会信徒の皆さまからのご協力を頂きました事、心より感謝申し上げます。

岡田茂吉師の自然農法 水田除草作業始まる

.....

六月に入り伊那農場では、水田除草作業が始まった。除草剤に頼らない無施肥無農薬栽培での米作りにおいて、この除草作業は最も重要かつ重



手取り除草作業は稲の生長に欠かせない



順調に生長している伊那農場の稲

秋季大祭・秋のみたままつり、九月感謝祭・敬老長寿祈願のご案内

- ◎祭典日 令和七年九月二十一日 (日) 十時 開式
◎参拝所 東京本部、各布教拠点 (本部よりライブ配信)